

平成 28 年度 第 2 回昭島市環境審議会
会議録（要旨）

〔開催日時〕 平成 29 年 3 月 15 日（水） 18：30～20：30

〔開催場所〕 昭島市役所 3 階庁議室

〔出席者〕

- 1 委員：椎名会長、長瀬副会長、亀卦川委員、桐谷委員、田中委員、
中野委員、根本委員、前田委員、久富委員、降旗委員
- 2 事務局：池谷環境部長、吉野環境課長、秋山係長（計画推進係）、齋藤係長（環境保全係）、小沢係長（水と緑の係）、流石主事

〔欠席者〕

委員：金井委員、宮川委員

〔議事要旨〕

- 1 開 会
- 2 議 題
 - （1）昭島市の水施策について 【資料 1】
 - （2）エコプロ 2016 の出展について（報告） 【資料 2】
 - （3）第 9 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について（報告） 【資料 3】
 - （4）平成 28 年度市内クリーン運動について（報告） 【資料 4】
 - （5）平成 28 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーンについて（報告） 【資料 5】
 - （6）平成 27 年度及び平成 28 年度苦情件数について（報告）
【資料 6-①】 【資料 6-②】
 - （7）平成 28 年度花の応援事業（花苗配布）について（報告） 【資料 7】
 - （8）平成 28 年度奥多摩・昭島市民の森事業について（報告） 【資料 8】
 - （9）平成 29 年度 主な環境課の事業一覧（予定）（報告） 【資料 9】

3 閉 会

〔配付資料〕

- 資料 1 昭島市の水施策について（平成 27 年度実績）
資料 2 エコプロ 2016 の出展について
資料 3 第 9 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について
資料 4 平成 28 年度市内クリーン運動実施報告書
資料 5 平成 28 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーン実施報告書
資料 6-① 平成 27 年度苦情件数
資料 6-② 平成 28 年度苦情件数（平成 29 年 1 月末現在）
資料 7 平成 28 年度花の応援事業（花苗配布）について
資料 8 平成 28 年度奥多摩・昭島市民の森事業について
資料 9 平成 29 年度 主な環境課の事業一覧（予定）

[発言要旨]

1 開会

2 議題

昭島市の水施策についてについて

【事務局による説明（要旨）】

昭島市の水施策について

（資料 1、秋山係長による説明）

本市では、深層地下水 100%をアピールし、水ブランド事業を実施するなど水と係わりが深い自治体と自負しているが、水施策を横断的にとりまとめる部署がなく、どのような施策を実施しているか分からないとの声があったので、資料 1 のとおり集約し、お示した。

河川等、地下水（水道水）、雨水、湧水、用水（農業・環境）、連携の 6 分野に分け、22 事業に集約し紹介した。

椎名会長

以上の説明でご質問・ご意見は。

降旗委員

水の良さを売りにして昭島を PR するとの説明を受けたが、その事業内容（水ブランド事業）についてもう少し説明してほしい。

秋山係長

平成 27 年度から開始したい水ブランド事業は、深層地下水 100%を上水道として使用し、生活している昭島市のライフスタイルをブランド化しようとしたものです。

まず、キャッチフレーズやロゴマークを作るなどし、イベントで PR しております。

その他に昭島市の水に係わる人・事業者を取材し、冊子にまとめるなどもしております。

平成 28 年度には、この他に水をテーマにした日帰り旅行を、実施するなど、その取組は広がりを見せております。

降旗委員

ありがとうございます。良い取組なので継続して行ってほしいです。

秋山係長

単年度事業ではないでの、今後も継続して行っていきます。

降旗委員

了解しました。

会長

水ブランド事業は、重要だということはよくわかりました。しかし、どのように事業を周知していくかが、重要だと思います。やはり、水ブランド事業を周知するには、マスコミにとりあげてもらうのが一番良いのかもしれないね。

どのようにとりあげてもらうかが課題だと思われますが。

副会長

会長のおっしゃるとおりだと思います。やはりマスメディアの力を活用するのが良いと思いますね。

秋山係長

参考にさせていただきます。

中野委員

玉川上水に関連した質問になりますが、拝島分水がありますが、拝島という地名がついており、歴史的に見ても貴重であると思うのです。このことから拝島分水をもっと市の魅力として活用して

- も良いのではないのでしょうか。
- 環境課長 拝島分水は奥多摩街道沿いを流れており、一部開渠の箇所があるなど歴史的にも古い用水路です。
- 取り入れ口は東京都の管理で行われており、水量も東京都が調整しております。また、文化財的な側面から見ても、貴重な財産であることは確かです。
- ただし、それぞれ担当が違うので活用方法は各担当課を検討していきたいです。
- 会長 拝島分水も含めて多くの用水路が昭島市にあるようですね。いかに保全していくかが大事ですね。
- 久富委員 湧水量調査の結果が出ていますが、今後の展望はありますか。
- 環境課長 調査をすることで、安定した湧水が見込まれることが分かるが、これを維持していくことが大事だと考えております。湧水量に興味をもたれているとのことでしたら、湧水量の変化も大事なので、委員に次回意向にお示ししたいと思います。
- 会長 他にご意見がありますか。無ければ、これで議題（１）については終了いたします。
- 続いて、議題（２）～（９）については報告事項なので、一括してご説明していただき、その後一括して質疑応答を行います。それでは、事務局お願いいたします。

昭島市の水施策についてについて

【事務局による説明（要旨）】

- （２）エコプロ 2016 の出展について（報告） 【資料 ２】
- （３）第 9 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について（報告）【資料 ３】
- （４）平成 28 年度市内クリーン運動について（報告） 【資料 ４】
- （５）平成 28 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーンについて（報告）【資料 ５】
- （６）平成 27 年度及び平成 28 年度苦情件数について（報告）
- 【資料 ６-①】【資料 ６-②】
- （７）平成 28 年度花の応援事業（花苗配布）について（報告） 【資料 ７】
- （８）平成 28 年度奥多摩・昭島市民の森事業について（報告） 【資料 ８】
- （９）平成 29 年度 主な環境課の事業一覧（予定）（報告） 【資料 ９】
- （資料 2、3、9 を秋山係長による説明）
- （資料 4、5、6-①、6-②を齋藤係長による説明）
- （資料 7、8 を小沢係長による説明）
- 各係長から担当した事業の説明を行った。また併せて平成 29 年度の事業実施予定を説明した。
- 椎名会長 以上の説明でご質問・ご意見は。
- 桐谷委員 水生生物の調査結果が出ていましたが、この調査は、魚類の特定外来生物の調査も行っていますか。
- 秋山係長 特定外来生物の調査は、魚類では行っていないのが現状です。
- 桐谷委員 昭島市の水をブランド化するのは良いと思うので、全方位の取組

を行った方がより良いのではと思ったのですが。

水に関連して、特定外来生物の調査も水生生物に関して行っていただければ良いなと思いました。

東京都としても、知りたい情報なのではないのですかね。

環境課長 来年度はまずアライグマ等を調査・防除していきたいと考えています。魚類の調査は、生物多様性の分野で取り組んでいきたいと思います。

桐谷委員 昭島市の生物を調べている団体と協力して行うのも良いと思います。すそ野も広がりますし。

環境課長 行政だけの取組ではなく、他団体との連携も視野にはいれておりますので、検討していきたいです。

田中委員 先日、環境学習講座のお手伝いしました、水生生物調査を行い、水生生物の生息状況から水質の良さを判断するなど、現在、生物多様性の観点から水生生物調査を行っていることを補足させていただきます。

環境課長 ありがとうございます。環境学習講座では、本年度水生生物調査を実施し、夏と冬で行いました。たいへん実り多き講座だったとお聞きしております。田中委員にもそのお手伝いをしていただいたことに感謝します。

田中委員 またもう一回出来るのであれば、水再生センターの処理水が流入するところで行いたいと思います。

環境課長 すでに水再生センターの水質は本市でも調査しているので、ある程度把握しておりますので、重なる部分があるかもしれませんので、その点はご了承ください。

会長 特定外来生物のことは今取沙汰されているが、生物多様性という観点から考えるべきだと思います。

特定外来生物が取りざたされているのは家畜や農作物に被害が出ているからでしょう。

特定外来生物にあまり特化しすぎない方が良いのかもしれないですね。もう少し包括的に考えるべきなのかもしれませんね。

田中委員 緑化フェスティバルに古着の回収のことがイベントの内容で出ているが、本市の清掃センターが無くなることも聞いているので、その関係も含めてもう少し詳しく教えてください。

環境部長 平成 31 年度まで清掃センターを運営していく予定です。

平成 32 年度からは、立て替えや他の自治体から構成される一部事務組合に加入するか等検討してきたが、昨年の 1 月に加入させてほしい旨を西多摩衛生組合に伝えた。

加入にあたって、古着は西多摩衛生組合では、昭島市のように可燃ごみで出せないなどの課題があるので、平成 29 年度から今まで以上にごみ減量に取り組んでいきたいと考えています。

会長 ごみの問題は難しいですね。リサイクル率なども大事でしょうし、昭島市が一致団結して取り組む必要があると思います。

環境部長	市民ひとりが1日あたりに出すごみの量、廃棄物の総量、総資源化率という指標で現在の市民の努力を表していますので、市民の努力が結果に表れてほしいと考えております。
久富委員	近くの大型店舗がガラス瓶の回収を最近やめてしまいました。今の流れから逆行していると思う。個人的な意見だが疑問に思う。資料9関連で、地球温暖化対策での取組内容が少ないと思うのですが。もし、行っているのであれば、もっとアピールしても良いと思います。
秋山係長	たしかに、おっしゃるとおりだと思いますので、もう少しアピールしていきたいです。
田中委員	たしかに省エネファミリー制度があるから、もっとアピールしたほうが良いと思います。
秋山係長	ありがとうございます。参考にさせていただきます。
田中委員	以前は、表彰制度もあったようですけど。
秋山係長	現在は、表彰制度がないが、優秀な成績を収めた方に記念品をさしあげております。
	現在、昭島市を含め多摩地域では家庭から排出される二酸化炭素の量が多く、その削減が課題となっております。
	委員から頂いた意見を参考に、温暖化対策に力を入れていきたいです。現在、自治会にも試行的に温暖化対策に、ご協力いただいているので、そうした視点も大事にしていきたいです。
会長	アピールがなぜ大事なのかは、まず、何ごとも意識してもらうことから始まるからだと思います。
	そういった点でアピールするということは、重要性が高いので、がんばっていただきたい。
亀卦川委員	昭島市の環境政策上の重点課題を教えてください。
	私は、都市の温暖化対策等を研究していて、緩和策より適応策が重要でないかと思っています。昭島市の重点課題に対し、興味をもったのでお聞きかせください。
環境部長	環境政策上の現在の重要課題は、ごみの問題だと認識しております。平成32年度までに西多摩衛生組合に加入させていただきたいという希望がございます。その大きな目標達成には、まず施設周辺に住む住民にご理解いただくことが大事であり、同時に昭島市民が問題の重要性を認識していただいた上で、これまで以上にごみの減量をお願いしたいと思っています。
会長	住民の理解を得るのは難しいですね。
環境部長	昭島市の本気度を伝えるには、いかに、ごみ減量を進めるかだと思います。まず、雑古紙の回収に力をいれ、資源化を進めたいです。そのために雑古紙回収袋を配布する予定ですので、ぜひ活用していただき、雑古紙の分別にご協力いただきたいです。
	あと、食品ロスを減らしたいと思っています。現在30.10運動を昭島市域に周知しています。

これは、宴会等で食べ残しを減らす運動で、宴会の開始 30 分は一生懸命食べる。そして残り 10 分の段階で食べ残しが無いように一生懸命食べる。こうして食品ロスを減らそうという取組です。

会長 ごみ減量することは、仮に搬入した場合の料金にも影響するし、搬入する車の量にも影響すると思う。非常に重要なことだし、昭島市の本気度が伝わると思います。

会長 その他に全体をとおして何かありますか？

前田委員 教育にかかわるところでお話しをさせていただきますと、昭島市の小学校では、3 年生になると昭島市の水について学習をはじめます。私も赴任してきたばかりですが、昭島市の子ども達は胸を張って水はおいしいと言います。

子ども達は、水を飲み比べれば味の違いが分かんると思ひ、さまざま水と昭島市の水を飲み比べたら味の違いは分かんないが、どれも美味しいことが分かったようです。

このように、昭島市内では、美味しいという認識のレベルは高いが、昭島市外にはまだ周知が不足しているように思うし、活路があるのではないかと思います。

23 区への人口流入は増えているが、なんとなくという意識で 23 区へ流入する傾向があると思うので、その辺の意識を変えていただければ昭島市へ流入する人口は増加するのではないのでしょうか。

田中委員 以前、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災時に昭島市の水を売って欲しいという人がいたそうです。販売することが出来ないの、知り合いから分けていただくしかその時は方法がなかったようです。それだけ、昭島市の水は安全だし、安心して飲めるものだと思うから、私ももっと市外にアピールすべきだと思います。

会長 エコプロに出展しているのだから、たくさんの人が来ているこうしたイベントで周知すると効果が大きいと思います。

都内や都外からたくさんの方が来るのだから活用するといいと思います。

田中委員 昭島市の水は安心・安全だから、子育てをしている親御さんに向けて周知すると効果的だと思います。

昭島市内においてペットボトルで水を購入している人は少ないと思います。

会長 ペットボトル消費量、消費率が分かるとおもしろいかもしれないですね。田中委員のおっしゃるとおり、子どもにどのような水を飲ませるか考える時代になっているのかもしれないですね。それだけ水は人にとって大切だと思います。昭島市にはかけがえのない財産である水があるという認識を持ち続けたいですね。

6 閉会

その他特に意見がないため、閉会する。